

ological study on myoglobin positive and anti-myoglobin antibody positive cells in myasthenic and nonmyasthenic thymuses. 10th International RES Congress, 1984, 9, Ito.

15) 横澤隆子, 大浦彦吉, 荻田善一, 若木邦彦, 谷内宗臣, 小泉富美朝: 老化ラットに対する和漢薬の影響について. 第1回和漢医薬学会, 1984, 9, 富山.

16) 古田 勲, 水分寿雄, 山本康一, 吉森寿美代, 沖田 進, 早津良和, 寺田周明, 小泉富美朝, 小浜源郁: Hypertrichosis を伴う idiopathic gingival fibromatosis の1症例に関する研究・1. 臨床病理学的検討・第29回日本口腔外科学会総会, 1984, 9, 札幌.

17) 中川 肇, 上田晋介, 稲葉博司, 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 小泉富美朝, 井上久美子: 扁桃が奏効した血漿蛋白異常を伴った acute generalized pustular bacterid の1症例. 第24回日本扁桃研究会総会, 1984, 11, 東京.

18) 小泉富美朝: 膠原病における血管病変について. 第33回膠原病研究会, 1984, 12, 新潟.

19) 肥田高嶺, 川口 誠, 若木邦彦, 小泉富美朝, 増田信二, 北川正信, 加藤義治, 山田 均, 辻陽雄: 慢性関節リウマチに合併した悪性リンパ腫の1例. 第11回新潟造血管腫瘍研究会, 1984, 12, 新潟.

20) 若木邦彦: 腎性高血圧とくに片腎性高血圧症の組織像について. 第5回富山医科薬科大学医学会学術集會, 1984, 12, 富山.

病 理 学(寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 荒 川 良

◆ 著 書

吉村裕之・上村 清・近藤力王至: 寄生虫学新書(改訂7版), 272頁, 文光堂, 1984.

◆ 原 著

1) 渡辺 護, 上村 清: 最近のコガタアカイエカの多量発生と殺虫剤抵抗性について. 富山県衛生年報 7: 33-37, 1984.

2) 寺西秀豊, 福田京子, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 加須屋実, 五十嵐隆夫, 荒川良: 喘息児家屋内ダニ相のプレパラートトラップ法による観察. 北陸公衛誌 11: 15-20, 1984.

3) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊:

昆虫・ダニアレルギー症対策に関する基礎的研究—特に畳内に生息するダニ相について. 家屋害虫(21/22): 48-57, 1984.

◆ 総 説

1) 上村 清: 農薬で死ななくなったコガタイエカ. The Control 32: 1, 1984.

2) 上村 清: ネズミと衛生. 北陸と公衆衛生 19: 14-18, 1984.

◆ 学会報告

1) 上村 清, 渡辺 護, 荒川 良: コガタイエカの殺虫剤抵抗性の季節変動と地域差. 第36回日本衛生動物学会大会, 1984, 4, 広島.

2) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫: 畳内に発生するダニ類の季節的消長と畳の材質との関係について. 第36回日本衛生動物学会大会, 1984, 4, 広島.

3) 吉村裕之, 赤尾信明, 北川正信, 上村 清, 吉村 平: 肺犬糸状虫症の2症例の追加. 第53回日本寄生虫学会大会, 1984, 4, 米子.

4) 上村 清, 渡辺 護: 殺虫剤抵抗性コガタイエカの発見. 第19回日本脳炎ウイルス生態学研究会, 1984, 5, 大阪.

5) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と日本脳炎存在との関係. 第19回日本脳炎ウイルス生態学研究会, 1984, 5, 大阪.

6) 上村 清: パキスタンにおける脳炎調査隊に参加して. 第3回北陸病害動物談話会, 1984, 6, 能登.

7) Kamimura, K.: Appearance of high resistant strain of *Culex tritaeniorhynchus*, the principal vector of Japanese encephalitis, to organophosphate and carbamate insecticides in Japan. 18th Joint Viral Panel Meeting, Japan-U.S. Cooperative Medical Science Program, 1984, 9, Oiso.

8) 上村 清, 荒川 良, 五十嵐隆夫: 富山県内の2住宅におけるダニ相について. 第39回日本衛生動物学会西日本支部大会, 1984, 10, 津.

9) 荒川 良: 寄生蜂における重複産卵の意義 II. 母蜂による先住寄生者への攻撃. 第44回日本昆虫学会大会, 1984, 10, 筑波.

10) 五十嵐隆夫, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊, 荒川 良, 上村 清: 室内塵性ダニ類に関する研究. 第2報 ダニ採取方法の比較検討. 第34回日本アレルギー学会総会, 1984, 10, 京都.

11) 荒川 良, 上村 清, 松野正知, 足立雄一,

村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第3報 畳内に生息するダニ類の季節的消長. 第34回日本アレルギー学会総会, 1984, 10, 京都.

12) Kamimura, K., Takasu, T., Ahmed, Altaf, and Ahmed, Akhter: A survey of mosquitos in Karachi area. 22nd Annual Symposium and B. M. S. I. Silver Jubilee, Jinnah Postgraduate Medical Center, Pakistan, 1984, 12, Karachi.

◆ その他

1) 上村 清: 越チュウねずみ十話 1—10. 北日本新聞家庭欄 1月21, 22, 31日, 2月2, 3, 4, 5, 7, 9, 11日号, 1984.

2) 上村 清, 渡辺 護, 荒川 良: コガタイエカの殺虫剤抵抗性の季節変動と地域差. 衛生動物 **35**: 176, 1984.

3) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫: 畳内に発生するダニ類の季節的消長と畳の材質との関係について. 衛生動物 **35**: 180, 1984.

4) 上村 清: カラチ地方の蚊について. 衛生動物 **35**: 212, 1984.

5) 吉村裕之, 赤尾信明, 北川正信, 上村 清, 吉村 平: 肺糸状虫症の2症例の追加. 寄生虫誌 **33** (増): 29, 1984.

6) 上村 清: 油断大敵 日本脳炎と蚊. 富山新聞健康欄 7月21日号, および 切抜き速報 健康教育版 (149): 20—21, 1984.

7) 上村 清, 渡辺 護: 殺虫剤抵抗性コガタイエカの発見. 日脳ウイルス生態研誌 **16**: 2—3, 1984.

8) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と日本脳炎存在との関係. 日脳ウイルス生態研誌 **16**: 10, 1984.

9) 五十嵐隆夫, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊, 荒川 良, 上村 清: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第2報 ダニ採取方法の比較検討. アレルギー **33**: 645, 1984.

10) 荒川 良, 上村 清, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第3報 畳内に生息するダニ類の季節的消長. アレルギー **33**: 646, 1984.

細菌学・免疫学

教授 小西健一
助教授 山岸高由
講師 坂本憲市
助手 林君枝
助手 黒木嘉人
文部技官 井上裕美子

◆ 原著

1) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウエルシュ菌の意義. 科研費特別研究「環境科学」研究広報, **28**: 212—213, 1984.

2) Konishi, K., Yamagishi, T., Sakamoto, K., Hayashi, K. and Kubo, Y.: Significance of *Clostridium perfringens* as a pollution-indicator of water. Special Research project of Environmental Science, **30**: 89, 1984.

3) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 山岸高由, 小西健一: 臨床材料から分離されたインフルエンザ菌の生化学型別と血清型別について. 衛生検査, **33**: 1150—1153, 1984.

4) 小西健一: 陸水生物の水質指標性と汚染除去能に関する研究. 日産科学振興財団報告書, **10**: 75—78, 1984.

◆ 学会報告

1) 坂本憲市, 山岸高由, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍性に関する研究. その1—基礎的検討—. 第57回日本細菌学会総会, 1984, 7, 札幌.

2) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 林君枝, 小市裕子, 河合幸一郎, 小西健一: 水中の *Clostridium perfringens* とその汚染指標への応用. 第57回日本細菌学会総会, 1984, 7, 札幌.

3) Yamagishi, T., Gyobu, Y., Sakamoto, K., Koshimura, S. and Konishi, K.: Enterotoxin production and pathogenicity of *Clostridium perfringens*. China-Japan International Congress of Microbiology, Shanghai Symposium-1984, 1984, 8, Shanghai.

4) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: バイテックAMSによる細菌検査成績の検討. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

5) 橋場礼子, 神保知子, 増山淳子, 藤塚昌子,